

# 平成 27 年度日本素材物性学会研究会

## 研究テーマ：「自然界に学ぶ材料設計」

日 時：平成 28 年 2 月 12 日(金) 15:00～

場 所：秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 2階 大セミナー室  
〒010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学内

主 催：日本素材物性学会

共 催：秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー  
高分子学会東北支部

参加費：無料(自由にご参加ください)

概 要：自然界に存在する動物・植物の機能を人工的に模倣する研究はバイオミメティクスと呼ばれ、近年活発に研究されている分野の一つです。未だに我々が模倣できる例はごく限られておりますが、その機能発現のメカニズムについて少しずつ解明されつつあります。学術的研究だけでなく、クモの糸による高強度繊維やヤモリを模倣した接着剤など産業界からも注目を集めているトピックスです。本研究会では、バイオミメティック材料研究の最先端で活躍されている 2 名の先生を県外からお招きした講演会を企画しました。バイオミメティック材料研究を通して新しい材料開発や機能材料デザインをあらためて考える絶好の機会になるものと思われま

### 記

#### プログラム

- 15:00～15:10 開会挨拶 日本素材物性学会会長 柴山 敦
- 15:10～16:00 「酵素重合を利用した構造タンパク材料の開発」  
理化学研究所 環境資源科学研究センター バイオマス工学研究部門  
酵素研究チーム 上級研究員 土屋 康佑 氏
- 16:00～16:10 休 憩
- 16:10～17:00 「ムール貝の接着タンパクに着想を得た接着・還元能を持つ  
両親媒性ポリマー」  
東北大学多元物質科学研究所 高分子・ハイブリッド材料研究センター  
自己組織化高分子材料研究分野 准教授  
JST「分子技術と新機能創出」領域 さきがけ研究者 藪 浩 氏
- 17:00～17:10 まとめ 日本素材物性学会編集委員長 寺境 光俊

#### 交 流 会

日時：研究会当日 17:40～  
会場：秋田大学学生会館 2階研修室  
会費：1,000 円(当日会場で承ります)

#### 連 絡 先

日本素材物性学会事務局 担当：佐藤英之  
電話&FAX：018-889-2439  
E-mail：s\_bussei@gipc.akita-u.ac.jp

※交流会への参加希望者は、上記事務局宛ご連絡ください。当日直接参加も可能です。